



総菜パンから菓子パンまで豊富な種類がそろった「ましきのパンやトレゾール」



三角形のおにぎりパンも人気です

す。パンの中には高菜とハム、きんぴらごぼうが入っています。「お客さまの中には、『1歳になる子どもがおにぎりパンが大好きで』とおっしゃる常連さんいらっしゃいます」と妻の千津子さん(56)。スタッフの息もバツチりあって、アットホームな雰囲気のパン専門店、これからの注目株です。

「益城町復興まちづくりセンターにじいろ」オープン

来年完成予定の益城町役場新庁舎。建設工事が進む南側の一角に今春4月、「益城町復興まちづくりセンターにじいろ」がオープンしました。木の温もりが伝わる平屋造りの建物の中には多目的室や、熊本地震の記憶を忘れないための震災の記録が展示された「記憶のフロムナード」のコーナーがあります。

また館内中央にはストリートピアノが置かれてあり、自由に演奏をすることができ、ピアノが得意でなくても、けん盤に触れてみるのは楽しいものです。

今後、北側に役場新庁舎、南側に交通広場ができる予定で、地域住民の交流の場、コミュニティ再生の拠点として多くの人に親しまれる場所となることでしょう。

ちなみに一昨年、この場所から2千年前の弥生時代の土器が発掘されています。はるか遠いのにしえの頃から、ここに人々が集い暮らしていたことを証しています。



熊本地震の記録が展示された「記憶のフロムナード」の回廊
「益城町復興まちづくりセンターにじいろ」の館内



散歩の終わりに

木山交差点から横町通りへと下るところで、船野山が目の前に迫り来るような風景に出合います。春霞がとれたこの季節はなおのこと、山肌がくつきりと目に映ります。

現在、あちこちで道路拡張工事が進み、町の景色もどんどん移り変わっています。こうして再発見する景色もまたいいものです。歩きながら出会う私たちの町の一コマを愛おしく思いながら、今日の出会いに感謝です。



建設工事が進む来年完成予定の新庁舎の南側に今春オープンした「益城町復興まちづくりセンターにじいろ」